

桂 七福

落語 / 漫談 / 講演会



落語家 桂七福（かつらしちふく）
1965年生まれ 徳島県出身 現在、徳島県徳島市在住
84年徳島県芸術祭奨励賞受賞。
90年上方落語・桂 福団治門下に入門。
91年国立文楽劇場にて初舞台を踏む。
96年本人が受けたイジメ体験を綴る 自叙伝「謔言(うわごと)」を出版、人権をテーマにした講演活動も始め、全国各地で注目を浴びている。
古典落語の持ちネタは「刻うどん」「まんじゅうこわい」「桃太郎」「天災」など51本。

落語の他に、落語を交えた楽しい講演活動は、教育関係機関・福祉関係機関・商工会など各地で好評を得ている。
また、幼稚園・小学生を対象にした「親子らくご会」や「みてきてはなしてらくご」など、表現する楽しさや言葉の面白さを落語を通して学んでもらう「こころの授業」の活動にも、精力的に取り組んでいる。

活動記録

- ・上方落語協会・関西演芸協会・文化庁芸能団体協議会 登録
- ・(財)徳島ハートランド・ボランティア推進協議会より徳島福祉功労賞 個人受賞
- ・NHK徳島の「てれこじ」がNHK放送局総局長賞 受賞 etc..

